

縁起物の「もちつき」で新年も元気に！

Koho - kenbunroku



おおきな杵（きね）に負けじと真剣顔でもちつき



おいしいつきたてのおもちをみんなで

12月16日、瀬棚保育所で、町内（島歌、瀬棚、馬場川）保育所合同もちつき会が行われました。毎年恒例となつていているこのもちつき会では、町内の3つの保育所の子どもたちが集まり、「元気に「よいしょよ！」「よいしょよ！」という掛け声で、交代しながらもちつきを行いました。中でも小さな子どもたちは大きな「うす」と「きね」に負けそうになりながらも、力強くもちつきを行いました。もちつきの後は、つきたてのおもちをみんなで、いろいろな味付けで楽しみました。

編集後記

▼皆さん明けましておめでとうございます。9月には新町「せたな町」が誕生ということで、新しい歴史の一步を踏み出すこととなります。今回、お話を伺った柴崎さんからは、ますます高齢化が進むことを考えると、こうした選択が最善だろう。いずれまた「合併の波」が押し寄せたときに力のある町になっていないと。そして、これからが大切。みんなで手を取り合い頑張っている町に…。などと、瀬棚町を築いてきた大先輩のお言葉は大変勉強というか、身にしみました…。▼今回で5回目（そんなことになるんですね）となる新年号の手作り表紙シリーズですが、今年は新町誕生と西年が連想できるものということで「卵」を選びました。意外と苦労したのが卵を置く仕切りを探すことで、昔はよく見たこの仕切りも、今はパック詰が主流なのでなかなか見つかりませんでした。今の小中学生は見たことないかもしれません…。（結局、給食センターで分けてもらいました）あと、気づいてくれないとさびしいので言ってしまうのですが、卵に張ってあるシールをよく見ると、漢字の「瀬棚」と平仮名の「せたな」の下に書いてある日付が微妙に違います。それ以上は言いません…。シールいびつな丸型ですが、自作のためご勘弁を…。ちなみ作品は毎年、戸籍の窓口に飾っていましたが、今回は生ものなので展示はしません。それでは本年も広報「せたな」をご愛読よろしくお祈いします（尾